



目次

- ・「世に生を得るは
事を為すにあり」
社内全体会議での
北野の訓話より
- ・ J T C N e w s
ヒューストン君が
やって来た！
- ・ ふるさと納税見直しへ！
- ・ TAX NEWS
平成 31 年度
税制改正大綱が公表
- ・ 北野会計事務所は
こんな事務所です！！



「世に生を得るは事を為すにあり」

北野 座右の銘

常に何らかの目標を設定するのは非常に重要で、我々税理士事務所でも同じです。そのため、毎年『事業発展計画書』を作成して目標を設定し、達成しようと全員で努力しているわけです。

第25期の計画書の中で特に重点を置きたいのは、「書面添付」「家族信託」です。これらは、まだまだ周知できていません。ですから、色々な形でお客様はもちろん、ブレン、開業支援などでお世話になっている金融機関の方々、生命保険会社の営業の方々のご協力をいただいたり、あるいはSNSで発信するなど、周知していかなければならないと思っています。

なぜこの二つかと言うと、書面添付は“税務調査ゼロの実現を目指して”と書いています。家族信託も“争族（そうぞく）ゼロの実現を目指して”と書いていいのかもしれませんが、いずれもキャッチコピーに非常にインパクトがあるので伝えやすいのではないかと、思いました。

私の昨年の目標は、「解約になった方へ1ヶ月に1件以上手書きの手紙を出すこと」でした。昨年は何とか目標を達成できたので、今年は「1ヶ月に2件」を目標に、継続してやっていこうと思います。

会計事務所もどんどん淘汰されています。価格競争もサービスレベルも追求されてくると思います。しかし、自分たちの行動できる時間は限られています。時間をいかに有効に使うか、有効に使うための手段は何かを考える。お客様は増やし続けなければ減りますから、将来に向けてそこをどう乗り越えていくのかを考える時期にきていると思います。

目標達成のために知恵を絞り、行動を起こし、お客様に満足を与えるだけでなく感動をしていただく。そういうサービスを心がけなければなりません。

北野慎二

JTC News

ヒューストン君がやって来た！

北野宅に1月までホームステイしていた留学生のヒューストン・エドワード君が、昨年末の事務所の大掃除を手伝いに来てくれました。

日本の企業の風習に触れて、どう感じたでしょうか。

英語と日本語を交えての会話は新鮮で、楽しい一年の締めくくりとなりました。



大掃除後の打ち上げにて。
中央がヒューストン君。
日本語も箸使いも上手でした！